

ハンディベース

下塗り用 樹脂プラスター【内・外壁用】 一材化ペースト品

壁紙・古壁・塗装面、石膏PB・合板・コンクリートもOK!
万能タイプの左官仕上げ用下塗り材。

塗り替えならコレ!

下地を選ばず、左官仕上げは
これひとつでほぼOK。

早い、便利、汚さない

練り混ぜる手間を省いた
混練り不要のペーストタイプ。

適用下地

■ 壁紙 ■ 古壁 ■ 塗装面 ■ 石膏PB
■ 合板 ■ モルタル

※古壁、合板に施工する場合、ウルトラナノ浸透プライマーを塗布してください。

適用仕上材

■ 漆喰 ■ 砂壁 ■ 珪藻土 ■ 樹脂系仕上材等

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2210046
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/



標準仕様

製品名	適用部位	適用仕上材	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	正味
ハンディベース	内壁 外壁※	漆喰・砂壁・珪藻土 樹脂系仕上材 等	石膏プラスターボード・各種合板 コンクリート・モルタル 古壁(漆喰・珪藻土・聚楽壁・繊維壁など) 壁紙(壁面のみ)・塗装面(油性塗料・水性塗料)	各種仕上げ材の下塗り ボードのジョイント処理	約1mm	14㎡/缶 (1mm厚)	ペースト 18kg/缶

※外壁は雨掛かりのない部位に限ります。

Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

ハンディベースは、塗り付けに最適な粘度のペースト状です。使用する際、水を加えての練り混ぜは絶対にしないでください。

石膏プラスターボード・合板下地

1 ウルトラナノ浸透プライマー塗布（合板の場合）

※塗布条件はウルトラナノ浸透プライマーのリーフレットを参照してください。

2 目地処理および釘頭の処理

●ベベルエッジボード、テーバーエッジボード下地

ジョイント部に、ハンディベースをコテで埋め込み、ファイバーテープを貼り付けてください。さらにその上にハンディベースをこするよう塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。ジョイント部分が盛り上がりすぎないように、余分な材料は取り除いてください。

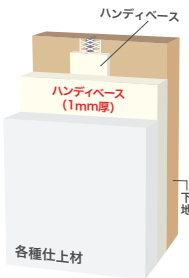
手に付かない程度まで乾燥したら、全面塗りが可能です。

3 塗り付け

ハンディベースを下塗り後、追っかけで所定の塗り厚に塗り付け、金鏝で平滑に押さえてください。

4 養生

ハンディベースが完全に乾燥した後、各種仕上げ材を施工してください。



古壁（漆喰・珪藻土・聚楽壁等）・モルタル下地 他

1 下地の点検・脆弱部の除去

2 ウルトラナノ浸透プライマー塗布（モルタル・コンクリート下地の場合はNPシーラック3～5倍液塗布）

3 塗り付け

ハンディベースを下塗り後、追っかけで所定の塗り厚に塗り付け、金鏝で平滑に押さえてください。

4 養生

ハンディベースが完全に乾燥した後、各種仕上げ材を施工してください。



壁紙下地

1 下地の点検・事前処理

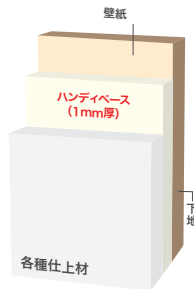
壁紙表面の汚れを除去してください。部分的に浮きや剥がれがある場合は、該当部分をカッターで除去し、端部をタッカー針で止めてください。

2 塗り付け

ハンディベースを下塗り後、追っかけで所定の塗り厚に塗り付け、金鏝で平滑に押さえてください。

3 養生

ハンディベースが完全に乾燥した後、各種仕上げ材を施工してください。



塗装下地

1 下地の点検・脆弱部の除去

2 塗り付け

ハンディベースを下塗り後、追っかけで所定の塗り厚に塗り付け、金鏝で平滑に押さえてください。

3 養生

ハンディベースが完全に乾燥した後、各種仕上げ材を施工してください。



ハンディベースの性能

下地種類	付着強さ (N/mm ²)
	標準養生
石膏プラスターボード	0.2 (下地材破壊)
壁紙 (汎用タイプ)	0.3 (下地材破壊)
壁紙 (フィルム汚れ防止)	0.3 (下地材破壊)
壁紙 (スーパー耐久)	0.3 (下地材破壊)
壁紙 (ウレタンコート)	0.4 (下地材破壊)
水性アクリル塗料	1.0
水性アクリルシリコン塗料	1.0
油性塗料	1.2
モルタル	0.8
構造用合板	0.6
漆喰	0.3 (下地材破壊)
珪藻土	0.4 (下地材破壊)
聚楽壁	0.4 (下地材破壊)
繊維壁	0.4 (下地材破壊)

養生条件: 20℃, 65% R.H. 14日間養生 日本プラスター (株) 試験室
※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません

●下地に浮きや剥がれがある場合は、必ず除去してください。●古壁や合板に塗る場合は、ウルトラナノ浸透プライマーによるアク止めを行ってから、ハンディベースを施工してください。●気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。●本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。●製造年月日を確認し、製造日から12ヶ月以上のものは使用しないでください。●施工中は、窓を開けて通風を心がけてください。

注意事項

〈使用上の注意〉●取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。●取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。
〈応急処置〉●目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。●皮膚に付着した場合: 直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。●誤飲した場合: 大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。
〈廃棄上の注意〉都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
〈漏出時の注意〉スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。